

# 県立図書館だより

## 今月の主催事業のお知らせ

— 今月県立図書館で開催される行事を紹介します —

**古文書解読講座（基礎）** ～古文書をはじめて学ぶ方を対象にしております～ 3階多目的ホール

第1回 「国典類抄Ⅰ」 ～延宝4年の職制改革について～

期日：7月17日（土） 13：30～15：00

第2回 「国典類抄Ⅱ」 ～天和・元禄・享保期の職制改革について～

期日：7月31日（土） 13：30～15：00

講師：県立図書館古文書班学芸主事 伊藤成孝・後藤富貴・畑中康博

申し込み：定員は20名、参加費は無料です。往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記し、個人でお申し込みください。返信用はがきを受講カードとします。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

**県立図書館館長講座** 3階多目的ホール

第2回 「休日規程と連判休みの要求」

期日：7月23日（金） 13：30～15：00

講師：県立図書館長 半田和彦

申し込み：定員は50名です。所定用紙、電話、はがき、ファックスでお申し込みください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。



第1回館長講座（5/27）より

### 8月の行事予定

古文書解読講座（基礎）第3回 8月7日（土）「国典類抄Ⅲ」 場所：3階多目的ホール

古文書解読講座（専修）第1回 8月3日（火）、4日（水）（両日とも同一内容です）

午前部「うつのみやもうこう宇都宮孟綱日記」 午後部「北家日記」 場所：3階多目的ホール

歴史講座 第1回 8月26日（木）「佐竹義和時代の文教政策」 場所：3階多目的ホール

## 今月の県立図書館小展示の紹介

— 毎月テーマを決めて本の紹介をしています —

平成16年度第3回展示 **手紙に親しむ** ～一筆啓上、火の用心、お仙なかすな、馬肥やせ～

最近、文通の手段としてeメールが盛んですが、手紙を交わして互いの近況を知らせたり、率直な気持ちを相手に知らせたりする手紙は、暮らしの中に溶け込んでいてうれしいものです。何かと億劫になりがちな手紙を簡単に書く方法や、いろいろな作者からの手紙文の良さを再発見します。

期間：平成16年6月21日（月）～7月17日（土） 場所：2階閲覧室

平成16年度第4回展示 **元気いっぱい夏休み！！** ～頭と体のパワーアップ～

小中学校の夏休みにおける読み物、調べ学習や工作等の資料と、オリンピックイヤーに関連してスポーツの資料を展示、貸出しします。

期間：平成16年7月19日（月）～8月22日（日） 場所：2階閲覧室

## 県立図書館司書がお勧めする一冊

— 県立図書館の司書2人が毎回お勧めの本を紹介します —

**書名 『大相撲の経済学』 中島隆信 著 東洋経済新報社 2003** [推薦者 吉田 孝]

勇み足、肩すかし、水入り、その他にも多くあるが、これらはすべて相撲で用いられる言葉が、そのまま日常的に使われている例である。このことは、職業相撲としての大相撲が日本の社会に深く根付いている現れと言えるだろう。著者は慶応大学商学部教授で、中学時代からの大相撲の大ファンである。大学の経済学の授業で、相撲を経済学の題材として取り上げたところ、授業の効果が上がったのがこの本を書く動機になったそうである。日本の国技といわれる相撲。しかし、日本相撲協会傘下の大相撲の世界はバールに包まれ、なかなか私たちの前に本当の姿を現さない。著者は、このような特殊な世界の中にもあるだろう合理性や、一般社会との共通性について経済学的観点から分析を試みている。

「力士は会社人間」「力士は能力給か」「年寄株は年金証書」等興味をそそる見出しが並ぶ中身となっている。いわゆる「金星」一個につき4万円が、その後の場所ごとに、関取の地位にある限り支給されるなどのトリビアも多くあるが、最後は、協会の綻び、潜在失業、構造改革の失敗等、日本経済と大相撲をオーバーラップさせて解説している。

**書名 『流通情報改革の切り札「IC タグ」がよくわかる』 石井宏一 著 オーエス出版 2004** [推薦者 芳賀 奈央子]

近い将来、0.4×0.4ミリという、大変小さなごま粒チップが、物や情報の流通を根本から変えてしまう可能性がある。この本には、IC タグの仕組みから、既に実用化された技術や将来への応用、またIC タグが引き起こす問題点などが挙げられている。

現在実用化されているものの代表は、JR東日本が開発したSuica（スイカ）である。Suicaは、マークのついた改札機にかざすだけで通過できることから、朝夕の混雑時にもすばやくホームまで行ける。しかも、購入した金額分を使用し終わった後も、再びチャージすることができるので、カードを何度も繰り返して使えるため環境へも負荷がかからない。このようなICカードが他にも実用化されてきており、クレジットカードにも応用されていく見込みとなっている。

その他にも、生産管理・トレーサビリティ・医療・迷子や徘徊への応用も考えられているし、出版業界でも一つ一つの書籍にICタグを取り付け、商品管理や万引き防止に役立てようという動きが出ている。ICタグは、情報や物流に関わるビジネスマンだけではなく、一般市民の生活にも深く関わってくるのがわかる。

ちなみに、世界最初の無線ICタグのアイデアは日本人によって考案されたとのこと。

## けいじばん

### ・第55回北日本図書館大会が盛会裡に終了しました。

上記大会並びに秋田県図書館大会（共催）が6月23日・24日秋田市文化会館を会場に開催されました。私たちは大会テーマを「新しい時代における図書館の役割」とし、昨年度から準備を進めてきました。北海道・東北各県より170名の参加者があり、2日間に渡って熱心な討論がなされました。大会を盛り上げていただいた参加者の皆様に改めて御礼申し上げます。

### ・書架整理ありがとうございます。

いつもご利用いただいているTさんは小説部門を中心に、自主的に書架整理をされております。ありがとうございます。閲覧室には約15万冊の本があります。職員は常に整理・整頓を心がけておりますが、利用時間帯は万全とはいきません。そこで皆様をお願いですが、ご覧になった本はできるだけ元の位置にお戻し下さるようお願いいたします。お互いが利用しやすいように。

## 7月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
				△	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ は休館日です。△は館内整理日です。（月の初日、1月4日が館内整理日

です。ご利用は2階閲覧室の図書の閲覧のみとなり、貸出等はいりません

開 館 時 間

平 日 午前10時～午後8時（4月～10月）  
午前10時～午後7時（11月～3月）  
土日・祝日・館内整理日 午前10時～午後5時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。